



イラク復興支援群活動報告

1 8 . 7 . 1

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 報 (18年7月1日)

- ◎ サマーワ主力
 - 人員・武器・装具異状なし
 - 警備態勢：[REDACTED]
 - 人道復興支援関連
 - ◆ 医療
 - 外務省等との調整
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - 2カ所(サマーワ、ルメイサ)での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - 4カ所(サマーワ×4)での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - 2カ所(サマーワ×2)での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - 5カ所(サマーワ×2、ヒドル、ワルカ、ルメイサ)での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 1カ所(サマーワ)での役務作業

※ヒドルユースセンター竣工式終了に伴い青年・女性・福祉関連施設の改修1カ所→1カ所

全 報 (18年7月1日)

- 撤収業務関連
 - ・ タリル現地調整
 - ・ 後送物品のコンテナ詰め(実施6個/計画7個)
別紙第1「撤収業務」
- 宿営地関連施設の整備
 - ・ 宿営地散水
 - ・ ゴミ回収
 - ・ 尿尿汲み取り
 - ・ 冷凍・冷蔵コンテナメンテナンス
 - ・ Tレックス
 - ・ 環境維持作業
- 7月1日現在の雇用人員
計492名(累計:482,832名)※ 細部別表「雇用者」参照
- その他(特記事項)
 - ・ [REDACTED] 及び [REDACTED] がサマーワ宿営地を出発
別紙第1「[REDACTED] 及び [REDACTED] 見送り行事」
 - ・ 4市長招へい行事を実施(宿営地)
別紙第2「4市長招へい行事」
 - ・ 孤児院建設計画完了式を実施(宿営地)
 - ・ 業支隊長が、キャンプスマッティエを訪問
 - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ26両に対し約376t(約83,556人分)が配水された。
7月1日まで計約81,492t(約18,109,333人分)配水(4.5リットル/人・日換算)

全 年 (18年7月1日)

- ◎ クウェート (クウェート分遣班、後送業務隊)
 - クウェート分遣班
 - ・ 演習場調整会議参加
 - ・ サマーワ展開及びクウェート受入支援
 - ・ キャンプバージニアにおける物品管理
 - ・ コンボイ準備
 - ・ 本邦後送品後送準備
 - 後送業務隊
 - ・ 家族支援センター開設
 - ・ サマーワからの借用器材 (保安関連) の受領
 - ・ アルアリサレム空港端末地業務現地確認
 - ・ コンテナの開梱及び梱包
 - ・ PWC洗車場におけるサマーワからの後送車両の点検
 - ・ 慣熟訓練 (操縦訓練 車両3両)
 - 別紙第2「後送業務隊活動状況」
- ◎ バクダッドLO
 - ・ 連絡調整及び情報収集
 - ・ ACSA申請手続き
- ◎ バスラLO
 - ・ 情報要求対応及び定例情報収集
 - ・ 定例会議出席
 - ・ 航空輸送調整
- ◎ スミッティLO
 - ・ 情報要求対応等
 - ・ 各種業務調整等
 - ・ 各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・ 連絡調整及び情報収集

進捗の進捗状況 (18年7月1日)

区 分	計 画		実 績 (d)	進捗度		残数	備考
	総 数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (d/a)	計画比 (d/b)		
コンテナ詰 (弾薬除く、点数)	60,122	33,752	31,733 【2,379】	53%	94%	28,389	
後送	コンテナ	337	84 【0】	25%	100%	253	
	車 両	203	65 【0】	32%	100%	138	

【 】内は、7月1日分の実績を示す。

輸送業務進捗状況 (7月31日)

区分	業務内容
コンテナ 作成	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">6個コンテナ作成</div> <ul style="list-style-type: none"> ●通電物品 : 1→2個(整備用部品) ●弾 薬 : 2→1個(弾薬類) ●化学物品 : 3→2個(防護マスク等) ●施設物品 : 1→1個(スペアタイヤ等)
輸送	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">特になし</div>

輸送業務進捗状況 (サマリー)

項目	進捗状況	評価	備考
復興支援 活動の整理	18%	現在進行中	17件中3件終了 (ヒドルユースセンター 本日終了)
宿営地の 整理	宿営地を陸軍に移譲することに関する県知事の同意の確認	本日実施	明日三者会同(業支 隊長、県知事、2旅団 長)実施
物品の不要 決定処置	0%	順調	不要決定上申中
コンテナ 詰め	53% 31,733/60,122	順調	
コンテナ 輸送	25% 84/337	順調	
人員輸送	32% 65/203		

雇用者(18年7月1日)

別表

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	67	310	492
	学校修復	97		
	道路補修	38		
	青年・スポーツ・女性	2		
	給水関連	106		
宿営地内役務	通訳	64	182	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	耐弾性強化施設補修	20		
	コンテナメンテナンス	5		

上段:増人員数
下段:減人員数

人員現況

区分	所属人員	サマーワ			クウェート			バグダッド			バスラ			キャンプ・スミヤイ			タリル			国外			国内			(備考) 働員の異化及び 増減人員の異化
		定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	出内人員(機上)	増減人員	所在人員	帰内人員(機上)	増減人員	所在人員	
10次支援群	481	481	3 2	475	2 3	6	0 0	0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	481	0 0	0 0	0 0	(アリアフジャン) (SW-アリアフジャン) (SW-KW) (アリアフジャン-SW)
10次警務 派遣隊	10	10	0 0	10	0 0	0	0 0	0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	10	0 0	0 0	0 0	
業務支援隊 5次要員	109	74	0 3	72	3 0	25	29	5 0	5 0	4 0	0 0	4 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	111	0 0	0 0	0 0	(KW) (SW-KW) (SW-KW)
後送業務隊	105	10	0 0	12	0 0	95	93	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	105	0 0	0 0	0 0	
合計	705	575	3 5	589	5 3	120	128	5 0	5 0	4 0	0 0	4 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	707	0 0	0 0	0 0	

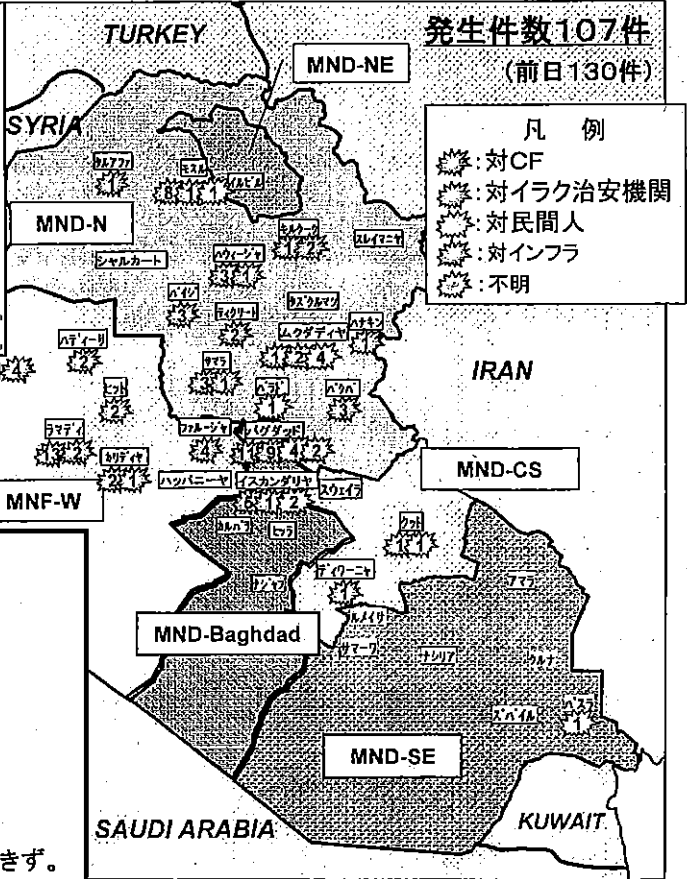
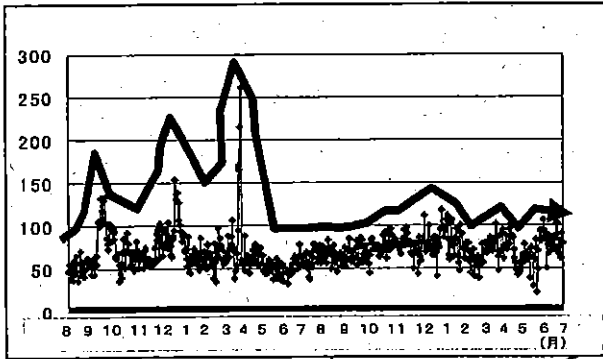
※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む

本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数: 31名 296分(10次群TV電話合計:0名、FOMA合計:1179名)

第四回運送業務予定(7月2日)

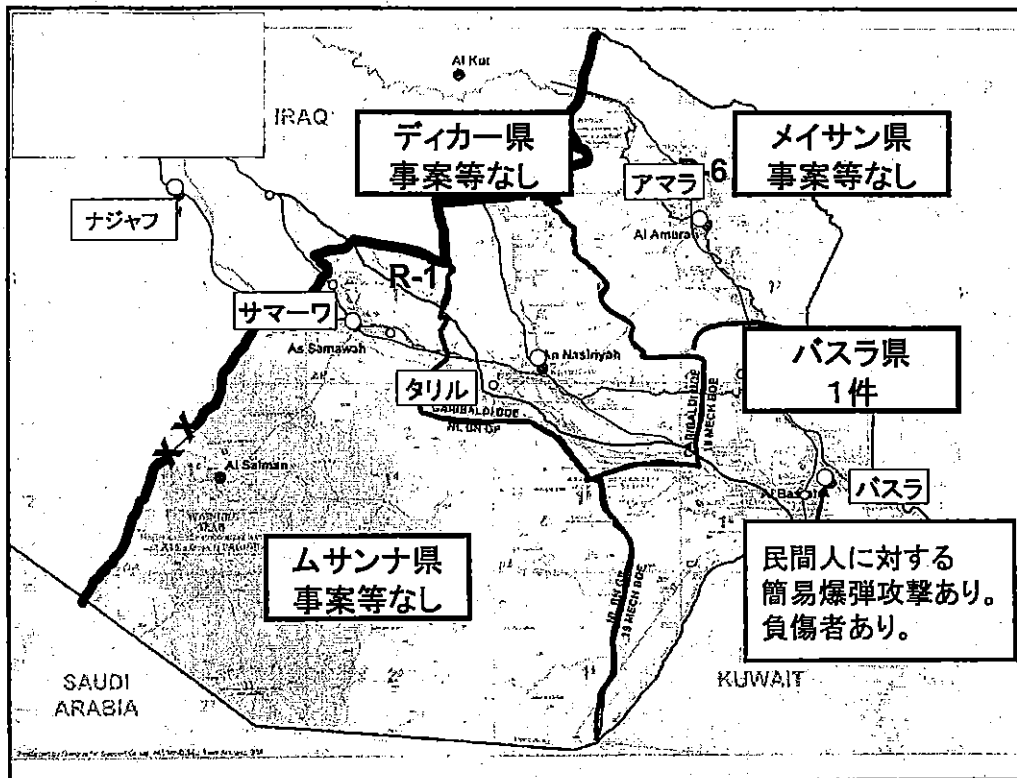
区分	業務内容
コンテナ作成	<p>17個コンテナ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●車両物品 : 10個(部品等) ●弾薬 : 2個(弾薬類) ●化学物品 : 2個(ガス検知器等) ●通電物品 : 1個(電話機等) ●衛生物品 : 2個(野外X線装置等)
輸送	<p>コンテナ積載</p> <p>コンテナ36本をトレーラー18両に積載 (3日朝出発)</p>

事案等の発生状況(30日0700~1日0700)



- ☆ 全般としてイラク全土の不安定な情勢変化なし。
- ☆ 細部発生状況
 - 時期
基地等: 昼夜間関係なし。
移動部隊等: 昼夜間関係なし。
 - 手段
基地等: 砲撃(迫撃砲、ロケット)主体
移動部隊等: 小火器、RPG、即製爆弾主体
 - 地域別状況: バグダッド地域を中心とする中部一帯及び西部で活動活発
中南部及び南東部地域: 比較的安定、但し油断できず。

事案等の発生状況 (30日0700~1日0700)



金曜礼拝(6.30) - 1



【アル・サマーワ・モスク】

○説法者: アワディ師(約1500名)

○説法内容

- ザハラ(ムハンマドの娘)の生涯について
- イラク政府は、燃料、電気、水といった生活環境を早期に改善せよ。
- 日本隊を含む多国籍軍は、イラクから撤退せよ。

○ザルガニ師が礼拝に参加したが、説法は確認できなかった。

【マムラハ・モスク】

○説法者: フセイン・ハル師(約40名)

○説法内容等

- ザハラ(ムハンマドの娘)の生涯について
- イラク政府は、燃料、電気といった生活環境を早期に改善せよ。
- 日本隊を含む多国籍軍は、イラクから撤退せよ。

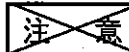
【ムルタバ・モスク】

○説法者: アサディー師(約500名)

○説法内容

- コーラン、ザハラ(ムハンマドの娘)について

金曜礼拝(6. 30) - 2



【アル・メディーナ・モスク】

○説法者: ワイリ師、アドナン師(約1500名)

○説法内容(アドナン師)

- 多国籍軍はすぐにサマーワから出て行く。しかし、米軍がいる限り状況は変わらない。全ての多国籍軍の撤退を強く希望する。
- 多国籍軍は、サマーワで何をしてきたのか。我々がサマーワを作っていく。
- 米軍とテロリストが協力して、シーア派、スンニ派、老若男女を問わず殺害している。
- 米軍によって市内が破壊され、テロリストが侵入している。米軍は撤退せよ。

【アル・ジャシール・モスク】

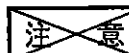
○説法者: カファジェイ師(約120名)

○説法内容

- ザハラ(ムハンマドの娘)の生涯について

- 1 今回は、ナジャフ及びカルバラにおいて実施されたザハラの命日に関する金曜礼拝に参加した者が多数いたため、サマーワ市及びその周辺においては、説法者不在のモスクがあった。
一方、ザハラの命日に関する礼拝を実施したモスクには、普段より多めの者が集まった模様である。
- 2 多国籍軍や日本隊に関して、早期の撤収実施を求める発言が散見された。これは、治安権限移譲後の活動(英豪軍撤収後の主導権獲得)に対する意欲の表れと見ることができる。今後、この主張がどの程度広まるかには引き続き注意する必要がある。早期撤収を求める声が大きくなる場合、治安権限移譲式典後の撤収期間中は、英豪軍及び日本隊の双方にとって攻撃を受ける可能性が通常よりも大きくなるであろう。

イラク全土の全般情勢評価(7. 1)



(6月30日以降変更なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	1 バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 2 政治的な対立、宗派間対立に起因するテロ、衝突等が継続 5月のマーリキー内閣成立以降も治安安定化の方向に進んでいるとは言い切れない。	6/23修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク政府)を継続(急激な過激化または衰退の兆候はなし) 2 アンサル・スンナとザルカウィGpの共闘が変化する可能性 3 ザルカウィ関連Gpの活動が変化する可能性 4 「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける 5 暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	6/23修正 6/8修正 6/8修正
サドル派	1 政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル派民兵の再構築を企図	6/8修正
特記事項	1 市場等多数の人が集まる場を狙ったテロ	6/23修正

イラク南東部の全般情勢評価(7.1)



(6月23日以降変更なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	1 バスラを除き比較的安定しているが、多国籍軍、イラク治安部隊等への攻撃が発生 2 ムサンナ県を含む南東部各県において簡易爆弾による攻撃が発生 3 バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 ・ シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・ 多国籍師団(南東部)、イラク治安部隊が実施する治安維持作戦への反発から簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性	6/23修正 6/23修正 6/23修正
スンニ過激派、国際テロリスト	1 宗派間対立に起因するシーア派への攻撃を継続	6/23修正
サドル派	1 サドル派中央の意向に従わない過激派が存在 2 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性	6/23修正 1/14追加
MSR/ASR	1 簡易爆弾、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正
タリルAB	1 移動経路上の簡易爆弾、RPG、小火器射撃による攻撃、基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃が実施される可能性 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正

ムサンナ県の全般情勢評価(7.1)-1



(7月1日変更)

区 分	内 容	備 考
全 般	1 比較的安定、しかしながら油断は出来ず 2 県の治安権限移譲に向けたマーリキー首相の発表、日本隊及び英豪軍の撤収の表明等を受けて、多国籍軍撤収後に向けた各勢力の動きが逐次活発化する可能性 3 イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。 4 簡易爆弾を用いた攻撃が比較的軽易に行われる可能性 この際、EFP等の高度な技術を要する簡易爆弾に加えて、比較的短時間に設置できる簡易爆弾や旧式の簡易爆弾が使用される可能性 5 地方選挙を控える中、評議会メンバー等に対する攻撃(サドル派民兵による可能性がある)が継続し、これにSCIRI(イラクイスラム革命最高評議会)の要員が巻き込まれる場合、バドル組織とサドル派民兵との緊張が高まる可能性	6/23修正 6/8修正 6/27修正 7/1追加
スンニ過激派、国際テロリスト	1 スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性	6/8修正
部族関連	1 日本隊または英豪軍撤収に対する不満や不安を持った部族関係者が存在する可能性	6/23修正
デモ関連	1 治安機関によって当面のデモの発生は効果的に抑止されているが、燃料、電力、雇用状況の根本的な改善は図られておらず、また、治安機関が現在の高いオプテンポを長期間継続することは困難であると見積もられるため、今後もデモや暴動が発生する可能性は継続	6/15修正

ムサンナ県の全般情勢評価(7. 1) - 2



(7月1日変更)

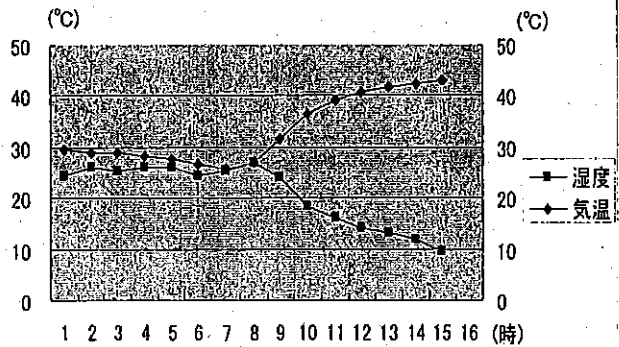
区分	内容	備考
サドル派	1 地方選挙に向けJAMとBADR組織の緊張が高まる可能性 サドル派民兵は英豪軍撤収後の勢力伸長に備えて、治安権限移譲までの間、勢力の温存を図る可能性 (前半部分を全般の項に移項)	7/1修正
	2 5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊との抗争に関連して、ナジャフのサドル派事務所中央は、サマーワサドル派事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性	6/4修正
	3 サドル派民兵過激派等により、宿营地外活動を実施中の部隊に対する臨機の簡易爆弾、RPG、小火器による襲撃及び宿营地に対する間接射撃等が実施される可能性 この際、県知事公舎周辺等のサマーワ市中心部及びCooperative Zone (イエロー・ゾーン)内とその周辺部は注意を要する。	6/23修正

現地の気象情報

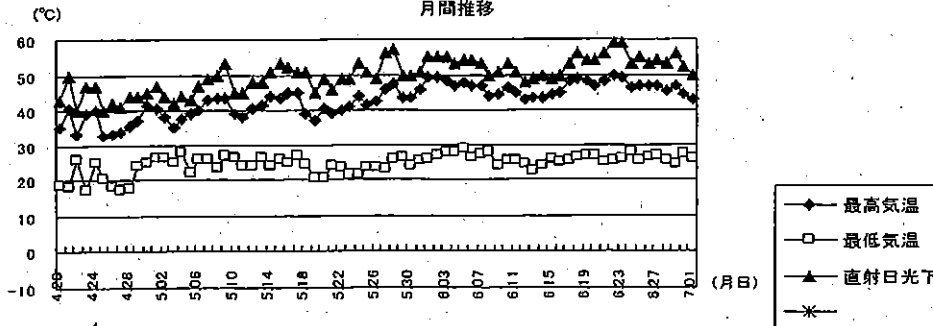
報告内容

明日の日の出 : 0558(サマータイム)
 明日の日の入 : 2008
 明日の月齢 : 6.6
 明日の月出没 : (出2日1157~没3日0019)
 本日の天候 : 晴れ
 本日の気温 : 最高43.0℃最低25.8℃
 : 最高50℃(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 20.7%

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



18年7月2日(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等・[場所]	車両
J1	群長の行動	0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0900 0915	4日J任務経路等について(仰指)	
		1000 1100	指揮幕会議[応接コンテナ]	
		1100 1430	宿営地内勤務	
		1430 1500	群本部幕僚会同[応接コンテナ]	
		1500 1515	活動命令(案)(仰決)	
		1515 1600	3日行動証明書について(仰指)	
		1605 1635	作戦会議	

18年7月2日(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等・[場所]	車両
J2	業務支援隊長の行動	0745 0800	隊朝礼	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		別示	宿営地 発 県庁 着(サマーワ) 県知事訪問 県庁 発(サマーワ) 宿営地 着	LAV(G)×4 LAV(GJ)×1
		1150 1540	宿営地内勤務	
		1540 1600	CIMICミーティング	
		1605 1635	作戦会議	
		1635 1655	隊ミーティング	
		1930 2000	外務省との定例ミーティング	

18年7月2日(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等・[場所]	車両
J201	GRF(A)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
J202	GRF(B)			
S6☆	役務警備員配置	2日 1130～ 1930～ 3日 0530～	宿营地～運河警戒位置～宿营地	
S8	宿营地内防疫	0830～1200	排水口、食道及び宿营地内トイレ防疫	中型(Med)×1
S11☆	警 衛	[Redacted]	警 衛	[Redacted]
		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
S12☆	浄水活動(運 河)	0730～1000	大量送水システム点検・始動	LAV(HS)×1 LAV(G)×1

18年7月2日(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等・[場所]	車両
S13a	宿营地内工事、作業	0830～1600	宿营地散水	
S13b		0830～1600	ゴミ回収	
S13c		0830～1600	尿尿汲み取り	
S13d		0900～1600	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13e		0900～1600	Tレックス	
S13f		0830～1600	環境維持作業	特大型(E)×1
S13g		別 示	コンボイ作業	
S13h☆		0800～0900	Oゲート給油	大型(HS)×1
S15	群主力の行動	0800 0810	群朝礼	
		0810 1600	宿营地内活動	
		(0700～1600)	群統制(コンテナ作成、輸送)	
S16	空中監視活動	25日0830 ～ 26日0830	空中監視活動	

18年7月2日(日)の活動予定

後送業務隊	クウェート分遣班	バックダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援センター開設 ・サマーワからの借用器材(保安関連)の受領 ・アルアリサレム空港端末地業務現地確認 ・コンテナの開梱及び細包の試行 ・PWC 洗車場におけるサマーワからの後送車両の点検及び洗車試行 	<ul style="list-style-type: none"> ・天幕返納準備 ・防衛施設庁交代要員に対する帰国準備支援 ・キャンプバージニアにおける物品管理 ・コンボイ準備 ・ナビスタ国境通過支援 ・本邦後送品後送準備 ・器材輸送 ・業者調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 ・ACSA手続き 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議出席 ・航空輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集

18 . 7 . 1
イラク復興支援群

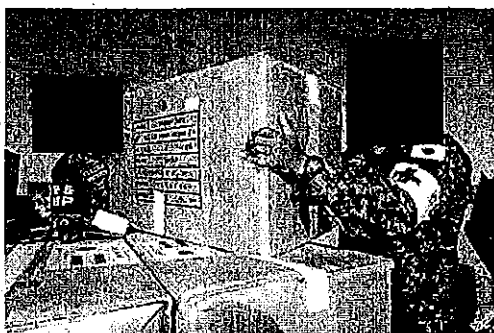
作戦会議(7月1日08:15)

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
 - 後送業務隊長から「予定通り実施しており、特に問題なし。キャンプアリフジャン米海軍病院に入院中の隊員の見舞いに行ったが、3名とも元気だった。」と言う電話を受けたので紹介する。

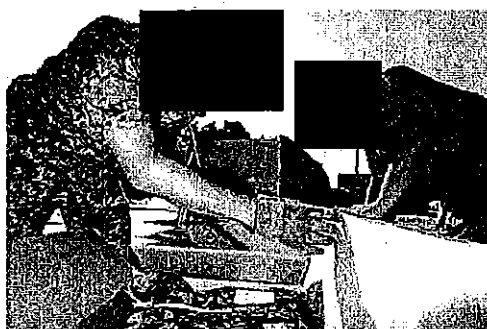
作戦会議(7月1日16:05)

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
 - ここ数日は、竣工式や行事が行われ、その様子が地元のマスコミに取り上げられている。我々の活動成果を紹介したり、県知事等の来訪者が感謝の言葉を述べる事により、住民が我々の活動成果を再認識し、その結果安全に活動する事ができる。広報を積極的に活用せよ。
 - 住民やマスコミの存在、現地人役務の雇用等、我々が学んできた事と異なる事項が作戦の重要な要素になっているということを認識せよ。

撤収業務

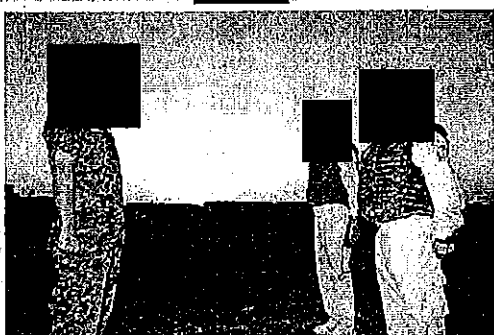


サイズごとパレットの上に集積する隊員



内容品を確認する隊員

技官及び技官見送り行事

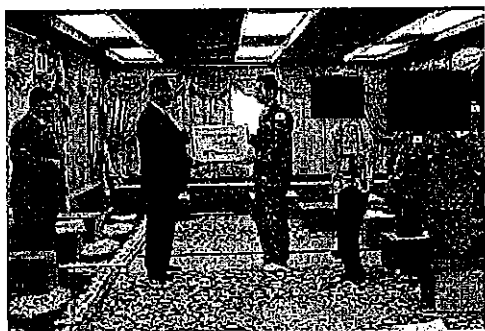


業支隊長に申告する様子

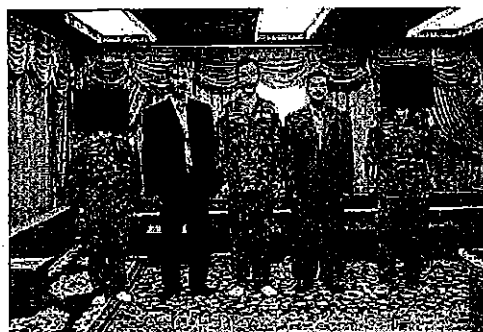


中央道で見送られる様子

4市長招へい行事

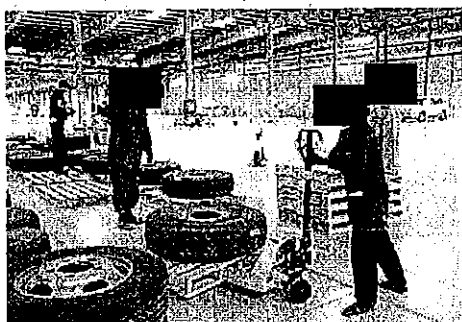


ヒドル市長に記念品を渡す群長

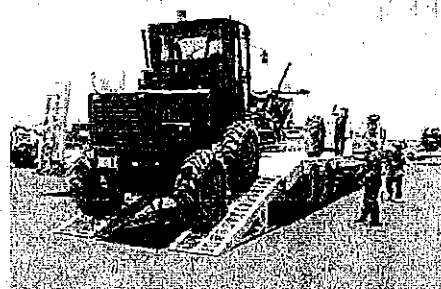


ヒドル、ルメイサ市長との記念撮影

後送業務隊活動状況



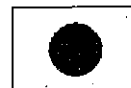
KGUにおけるDB業務の様子



PWCにおける車両卸下の様子



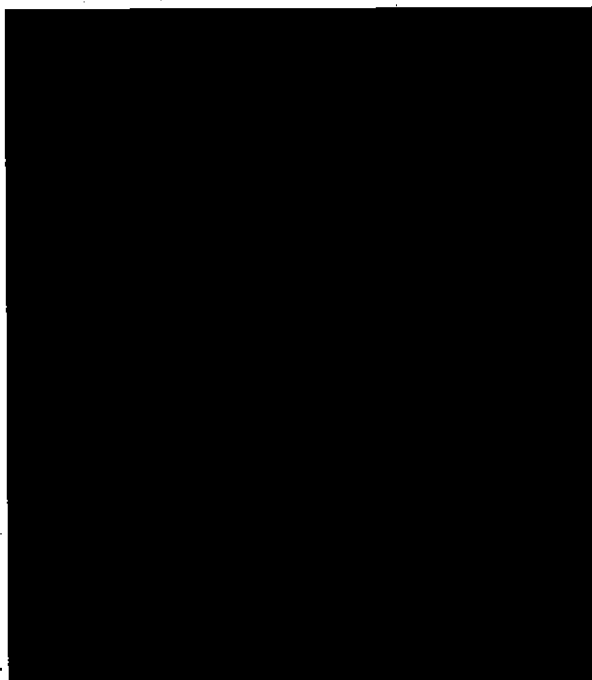
バグダッドLO日々業務報告(7月1日1830)



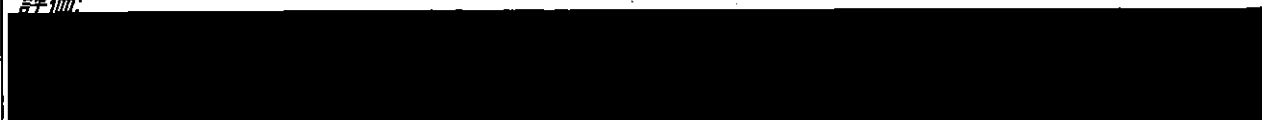
区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 なし (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) ACSA申請手続き
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	

別紙第1

7月1日JAM情報最新版(仮訳)

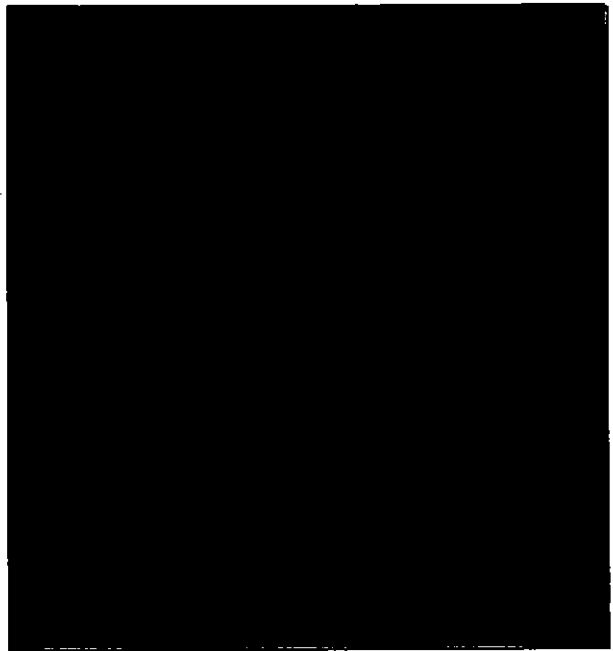


評価:



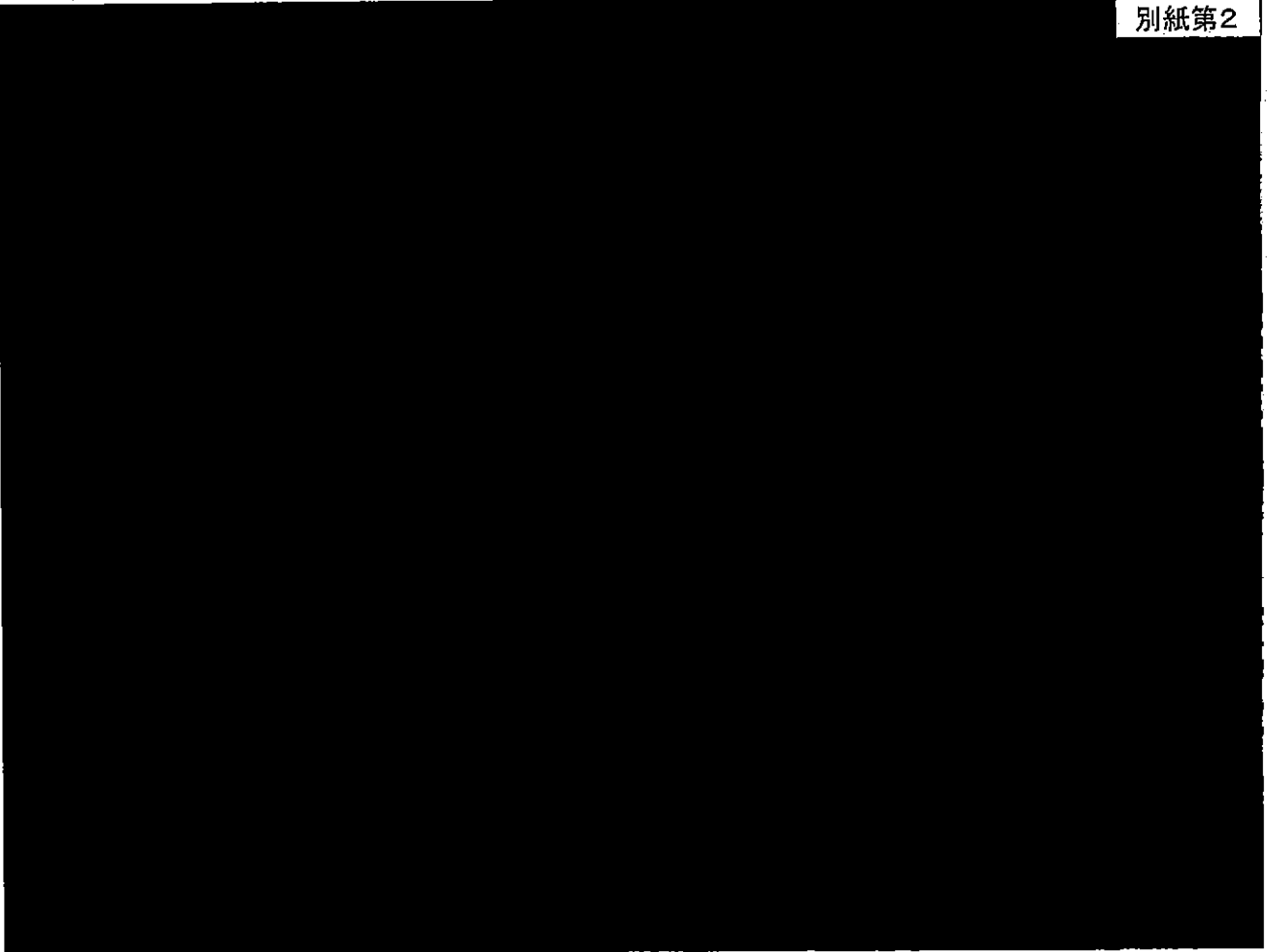
[REDACTED]

JAM Update: 01 July



Assessment: [REDACTED]

別紙第2



バグダッド日誌 (7月1日)

○ケーシー司令官R&R(リスト・アンド・リフレッシュメント)?

6月17日からMNF-I 司令官 ケーシー大將は朝の指揮官報告(BUA)に参加されず、MNF-I幕僚長 [REDACTED] が代行されていた。イラク国外で開催される会議に参加したとしても2日連続してBUAを不在にされたことがなかったため、余計なお世話ではあるが、何があったのか気になっていた。高官のスケジュール管理をする部署にそれとなく聞いても詳しいことは教えてもらえなかったが、6月22・23日のBBC放送でケーシー司令官がペンタゴンでの会議に出席し、ブッシュ大統領にイラクの現状について報告しているニュースをBBCで確認して合点がいった。

ケーシー司令官は2004年7月からMNF-I司令官として勤務し、ほぼ2年経過しているが、この間家族に会うこともなく過ごしてこられたのであろう。BUAでいつもジョークを交えたコメントを述べられていたが、今日のジョークには更に「キレ」が感じられたところを見ると、今回の帰国にあわせてご家族とお会いできたのであろうと勝手な想像をしていた。

たった半年の勤務でも多少「疲れ」を感じている我々とはモノが違うことは重々承知しているが、2年間も司令官という重職を担い、着実にイラク復興に導いている姿は「イラク・オペレーションの神様」のようにも思える。

14日ぶりに朝の指揮官報告(BUA)で報告を受けたケーシー大將は、報告を受けた後に「Thank you Everyone. Good to come back!」(皆ありがとう。戻ってきてよかったよ。)とコメントをされ、会場からも安堵の混じった歓声があがった。

いよいよイラクにおける治安権限が多国籍軍からイラク軍への移譲が開始され、重要な局面を迎えている。この局面を上手く舵取りして行けるのは、米軍広しといえども、イラク・オペレーションの全て理解しているケーシー司令官以外考えられないであろう。

[REDACTED]



バスラLO日々業務報告(7月1日1900)



区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED] [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 航空輸送調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送調整等
5 その他(備考)	



バスラ日誌（7月1日） -158号-

1 7月4日にバスラにおいて指揮官会議が実施される。業務多忙のため、残念ながら群長のバスラ来訪は叶わぬこととなり、代理出席させていただく。会議資料の提出締切は、本日0800と指定されていたので、できれば昨夜中には入手したいと思っていた。残念ながら本日0800を過ぎてデータを入手したので、遅れたことを詫びて提出したが「日本隊が1番早かったよ。問題ないから。」と言われた。会議資料の準備に手間がかかることは十分理解できるし、毎回各部隊等のプレゼンテーション・データが出揃うのが締切を大幅に過ぎることも承知していたが、時間内に提出することが望ましいのはもちろんであるから、サマワには『早く出して下さい。』と催促していた。資料作成にあたられた皆様に感謝する。

また、師団長表彰の上申についても同じく時間厳守をお願いし、昨日夜受領して群長と隊長のサインを [] と分担して代筆し（すみません。表彰状にはもちろん使われませんので大丈夫です。）本日朝、予定通り提出した。今のところ表彰式の予定は報告したとおりであるが、師団長も超多忙につき、実現できれば幸いである。師団長がサマワに行けない時は伝達のみ実施していただく予定である。（ [] ）

2 「 []、真面目にやっとなるか！」という副長の声をしばらく聞いていなかったの、「副長は生きているのだろうか？」と日誌のネタにしようと、昨日の夜、本当に、 [] と話していたところだった。

「 [] だけ。」という電話の声を聞いてびっくりした。うわさ話をしていると、その人が部屋に入って来ることもままあるが、剣道部の先輩に対して、「生きてるかなあ？」なんて言ったのがいけなかったかもしれない。びっくりした。（体調を心配しておりました。陰口ではありません。） []

3 現在、英軍コンボイに自衛隊の契約した民間コンボイを加入させ、クウェートからバスラへ、バスラからクウェートへ物品を輸送しようと計画している。これが実現すると、民間の警備会社を雇うことなく、バスラからクウェート間の物品輸送が可能となる。その反面、英軍のMT（モータチーム）をはじめ、業支隊の各部署に調整や支援の労を執って頂くことになる。今回初めての試みで、至らぬ点が多々あると思うが、バスラへの物品輸送支援をよろしくお願ひしたい。（引続き、調整お願ひします。） []

4 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。 []、 []、 []、 []



スミッティLO日々業務報告(7月1日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし: XXXXXXXXXX Threat Level XXXXXX
2 特記事項	業支隊長・政策アドバイザー等がキャンプスミッティを訪問、TFMCO・AMTG3CO・英豪POLAD等と会談を実施
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 J2関連、明日以降の豪軍支援要請関連、Inet整備関連等 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし



クウェート分遣班業務報告

18. 7. 1

全 般	
<input type="checkbox"/> 国内情勢等: XXXXXXXXXX <input type="checkbox"/> 人員・武器等: 異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告: 所属人員23名、事故人員0名、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候: 晴れ <input type="checkbox"/> 気温: 0700 39°C(43°C) 1100 47°C(57°C) ()は直射日光

本日の行動	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 演習場調整会議参加 <input type="checkbox"/> サマーワ展開及びクウェート受入支援 <input type="checkbox"/> キャンプバージニアにおける物品管理 <input type="checkbox"/> コンボイ準備	<input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備

明日の予定	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 天幕返納準備 <input type="checkbox"/> 防衛施設庁交代要員に対する帰国準備支援 <input type="checkbox"/> キャンプバージニアにおける物品管理 <input type="checkbox"/> コンボイ準備	<input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備 <input type="checkbox"/> 器材輸送 <input type="checkbox"/> 業者調整

その他	
なし	

クウェートLO日々業務報告(7月1日1900)

区 分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル [] 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報（危険情報）：クウェート全土「十分注意」（N/C）	
特記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	1 連絡調整等 (1) 情報要求対応 (2) 業務申し送り (3) メディア対応支援 (4) 患者後送に関する情報提供 2 情報収集 特記事項なし	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 館内会議 2 情報収集	
その他	なし	